

WHAT'S MUSEUM? III

糸・布・衣

身近なモノ・歴史的なモノを、美術的視点で見る第三弾。

今回は糸・布・衣を取り上げます。2月7日(火)～20日(月)は日田祇園祭の見送幕の画像と、2月21日(火)～3月5日(日)は大分県内の仏像の画像で、森のように林立させたインスタレーションを体験学習室で行います。

この画像の森は、ぬり絵ワークショップで描かれた画像と一緒に展示され、日々、変化していきます。

アトリエでは、ワークショップ&レクチャー、そして廊下の教材ボックスでも関連展示を行います。

ぬりぬりの ぬり絵ワークショップ

日田祇園祭の見送幕と大分県の仏像彫刻のぬり絵を、クレヨン、マジック、絵の具など、いろいろな画材を使ってカラフルにしちゃいます。

① 祇園祭の日

2023年2月4日[土]

10:30～12:00 (4歳以上の未就学児と
その保護者 10名程度)

14:00～15:30 (小学生から一般 10名程度)

② オシャレな仏像さんの日

2023年2月18日[土]

10:30～12:00 (4歳以上の未就学児と
その保護者 10名程度)

14:00～15:30 (小学生から一般 10名程度)

※場所はともに2Fアトリエ

申込方法
先着順

ホームページ[<http://opam.jp>]の申し込みフォームよりお申し込みください。
定員に達し次第、ホームページで受付終了をお知らせします。



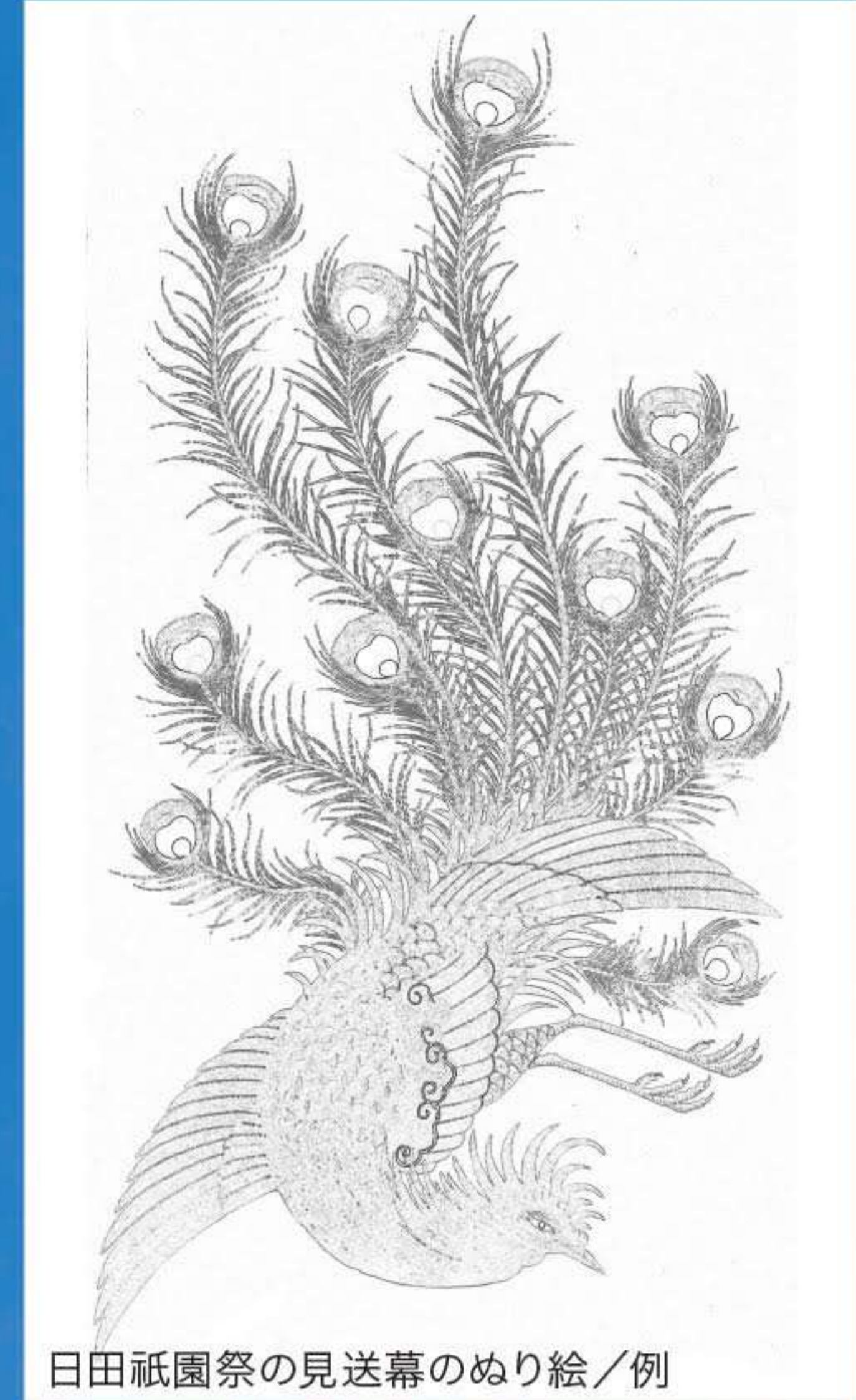
日田祇園祭の見送幕



豊後高田市 熊野磨崖仏



臼杵市 臼杵磨崖仏



日田祇園祭の見送幕のぬり絵/例



日田祇園祭の見送幕

OPAM

Oita 大分県立美術館
Prefectural
Art
Museum

A.

祇園祭のタペストリー

京都祇園祭は9世紀から始まった祭りで、重要有形民俗文化財の山鉾は、さまざまな美術工芸品で装飾され、まさに動く美術館。日田祇園祭の見送幕や京都祇園祭の山鉾を飾る外国製の染織品/掛布について、制作地や目的、描かれたモチーフや技法とともに、当時の国際交流などのお話を伺います。

講師: 吉田雅子 (染織史/京都市立芸術大学 教授)

2023年2月19日[日] 13:30~16:30

対象と定員:中学生から一般 30名程度

場所: 2Fアトリエ、体験学習室

profile 吉田雅子

1961年生まれ。人間・環境学博士。専門は染織工芸史。1979-83年、武蔵野美術大学にてテキスタイル(染織)のデザインを学び、デザイナーとして勤務した後、1989-91年、ワシントンD.C.のテキスタイル美術館でスペシャル・インターンとして染織品の保存・調査に関わる。1992年、ニューヨークのメトロポリタン美術館で東アジア染織品のリサーチ・アシスタントとして勤務。1997-2002年、京都市大、人間・環境学専攻、修士・博士課程修了。現在、京都市立芸術大学教授。染織技法、美術様式、史料を分析し、ヨーロッパ・中国・日本そしてインド・アンデスまで、染織品がたどった東西交渉史を研究し、著書「海のシルクロード」では、16世紀半ばから17世紀半ばに日本に舶載された染織品から、それらの制作地、制作年代、制作目的、交易経路等を推定し、意匠の国際交流やその背後にある様々な文化圏の人々の営みを描き出す。

B.

大分の仏像 六郷満山を中心に

宇佐の八幡信仰と古代仏教が融合した「神仏習合」が今も残る国東半島。重要文化財である木造阿弥陀如来坐像や四天王像、木造大威徳明王像が安置されている真木大堂をはじめ、平安から中世にかけて花開いた六郷満山文化の栄華が色濃く残されています。県内の仏像や仏教行事について、六郷満山を中心に伺います。

講師: 菅野剛宏 (大分県立歴史博物館 学芸調査課長)

2023年2月23日[木・祝] 13:30~16:30

対象と定員:中学生から一般 30名程度

場所: 2Fアトリエ、体験学習室

profile 菅野剛宏

茨城県生まれ。大分県立歴史博物館と大分県立美術館の学芸課長をいたりきたりしながら、うさ・くにさきの民俗や庶民生活史を中心に、大分県の歴史と文化を県内外に広めている。論稿集『神・人・自然』では、「農耕図絵馬に見る近代の息吹」を記している。現在は、大分県立歴史博物館 学芸調査課長。

関連ワークショップ・レクチャー ※申込不要

朝のおとなの
1010講座

素材と技術「糸を紡ごう!」……………2月11日(土) 10:10~11:10
素材と技術「紙の布」……………2月24日(金) 10:10~11:10

夜のおとなの
金曜講座

素材と技術「繊維いろいろ」……………2月 3日(金) 18:30~19:30
素材と技術「繊維組織の、ちょっと難しい話」…2月10日(金) 18:30~19:30
美術からみた文化「糸・布・衣の物語」……………2月17日(金) 18:30~19:30
視るは楽しい教材ボックス「NUNOの布」……………2月24日(金) 18:30~19:30

C.

衣文からみる仏像彫刻

この講座を受けた後、仏像を見る眼が変わるかも。奈良国立博物館で仏像を調査・研究する岩井共二さんは、自らを仏像ハカセ・イワイと名乗り、「仏像の衣装を着る」という、一見、お茶目なワークショップを行いながら、仏像彫刻の魅力を広げています。この講座では、仏像の衣文から、仏像の造形美について伺います。

講師: 岩井共二 (奈良国立博物館 学芸部美術室長)

2023年3月4日[土] 13:30~16:30

対象と定員:中学生から一般 30名程度

場所: 2Fアトリエ、体験学習室

profile 岩井共二

1968年、愛知県生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程中退。1994年から2012年まで山口県立美術館に勤務。2012年より奈良国立博物館に移る。教育室長を経て、学芸部情報サービス室長(彫刻担当)として、公式Twitter運営やテレビ出演など、博物館のPR活動にも精力的に取り組んだ。現在、学芸部美術室長。専門は、東アジア仏教美術史。仏像の着衣形式のあり方から、東アジアにおける仏像様式の伝播と受容・変容のあり方を探っている。博物館では、仏像の着方を理解してもらうための「仏像コスプレ」のイベントを企画して、仏像の理解に努めている。

D.

仏像コスプレ 着付けをしてみる

仏像はどんな服を着ているのかな? ボタンもファスナーもなさそうだけど、どうやって着ているのかな? みんなで仏像の衣を着てみよう!

講師: 岩井共二 (奈良国立博物館 学芸部美術室長)

2023年3月5日[日] 10:30~12:30

対象と定員:小学生とその保護者 10名程度

場所: 2Fアトリエ

申込方法
先着順

ホームページ[<http://opam.jp>]の申し込みフォームよりお申し込みください。定員に達し次第、ホームページで受付終了をお知らせします。

OPAM
Oita 大分県立美術館
Prefectural
Art
Museum

大分県立美術館 教育普及室

〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL097-533-4502 <https://www.opam.jp>

<https://www.facebook.com/OPAMeducation>

OPAM 教育普及 FB



令和4年度文化庁
Innovate Museum事業